

科目ナンバー： 研究・CNS：MC9023／助産：MmC9023

授業コード： 6630900200

講義科目名称： 地域看護学援助論 I

英文科目名称： Advanced Community Health Nursing I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎高林知佳子、関睦美、野口裕子、前川絵里子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 通年	【授業時間】 30時間
	【担当教員】	
	【氏名】 ◎高林 知佳子 関 睦美 野口 裕子 前川 絵里子	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上
	【研究室】 304 301 209 307	【メールアドレス】 takabaya@niigata-cn.ac.jp museki@niigata-cn.ac.jp yuko@niigata-cn.ac.jp maekawa@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門分野	
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 研究 ◎ ○ ○ ○ ○ CNS 助産	

到達目標	地域を基盤とした個人、家族、集団、組織、地域への看護支援に関する実際や研究の動向・今後の課題について説明できる。
授業概要	1. 国内外の文献を通して、地域看護活動の対象（個人、家族、集団、組織、地域）に対する看護支援の実際と研究動向・今後の課題を把握する。 2. 文献検討、文献クリティークを重ねながら、地域看護学における明らかにしたい研究課題を探る。

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義（対面） 学修課題：ガイダンス 学修内容：地域看護援助論Ⅰ・Ⅱの到達目標、授業概要、授業構成、授業スケジュール、文献検索、文献検討、文献クリティークの方法 事前学修：シラバスを読み、授業の目的と進め方を把握する。 事後学修：文献検索・文献検討の流れを振り返る。 備考：高林、関、野口、前川</p> <p>2 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：テーマの探求 学修内容：関心のある研究テーマ・研究疑問に関するプレゼンテーション 事前学修：関心のある研究テーマや疑問を整理する。 事後学修：討議を通して研究テーマを見直す。 備考：高林、関</p> <p>3 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：患者の意思を尊重した退院支援1 学修内容：退院支援の文献検討 事前学修：退院支援に関する文献を1～2本読む。 事後学修：文献内容と自身の関心との関連を整理する。 備考：高林</p> <p>4 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：患者の意思を尊重した退院支援2 学修内容：文献クリティーク 事前学修：前回扱った文献を批判的に読み直す。 事後学修：文献クリティークの視点を整理する。 備考：高林</p> <p>5 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議（対面） 学修課題：地域を基盤とした多職種連携1 学修内容：多職種連携コンピテンシーの文献検討 事前学修：多職種連携に関する文献を読む。 事後学修：地域における多職種連携の特徴を整理する。 備考：関</p>
------	--

6	<p>授業内容            授業形態：プレゼンテーションと討議（対面）            学修課題：地域を基盤とした多職種連携2            学修内容：文献クリティーク            事前学修：多職種連携に関する文献を批判的に読む。            事後学修：文献の強み・限界を整理する。            備考：関</p>
7	<p>授業内容            授業形態：プレゼンテーションと討議（対面）            学修課題：地域を基盤とした災害対策1            学修内容：地域における災害対策の文献検討            事前学修：地域における災害対策の文献を読む。            事後学修：地域看護の視点から災害対策を整理する。            備考：野口</p>
8	<p>授業内容            授業形態：プレゼンテーションと討議（対面）            学修課題：地域を基盤とした災害対策2            学修内容：文献クリティーク            事前学修：災害対策に関する文献を批判的に読む。            事後学修：今後の課題を整理する。            備考：野口</p>
9	<p>授業内容            授業形態：プレゼンテーションと討議（対面）            学修課題：地域を基盤とした難病・障害者支援1            学修内容：地域で暮らす難病療養者と家族に対する支援の文献検討            事前学修：難病・障害者支援に関する文献を読む。            事後学修：地域での支援の特徴を整理する。            備考：前川</p>
10	<p>授業内容            授業形態：プレゼンテーションと討議（対面）            学修課題：地域を基盤とした難病・障害者支援2            学修内容：文献クリティーク            事前学修：難病・障害者支援の文献を批判的に読む。            事後学修：支援の課題と研究視点を整理する。            備考：前川</p>
11	<p>授業内容            授業形態：プレゼンテーションと討議（対面）            学修課題：研究課題の絞り込み1            学修内容：関心のある研究テーマの文献検討1            事前学修：関心のある研究テーマに関する文献を読む。            事後学修：研究テーマの候補を整理する。            備考：高林、関</p>
12	<p>授業内容            授業形態：プレゼンテーションと討議（対面）            学修課題：研究課題の絞り込み2            学修内容：文献クリティーク            事前学修：選定した文献を批判的に読む。            事後学修：研究課題の焦点を明確にする。            備考：高林、関</p>
13	<p>授業内容            授業形態：プレゼンテーションと討議（対面）            学修課題：研究課題の絞り込み3            学修内容：関心のある研究テーマの文献検討2            事前学修：研究課題に関連する追加文献を読む。            事後学修：研究課題の妥当性を検討する。            備考：高林、関</p>
14	<p>授業内容            授業形態：プレゼンテーションと討議（対面）            学修課題：研究課題の絞り込み4            学修内容：文献クリティーク            事前学修：研究課題に関する文献を再度批判的に読む。            事後学修：研究課題と方法の関係を整理する。            備考：高林、関</p>
15	<p>授業内容            授業形態：プレゼンテーションと討議（対面）            学修課題：研究課題の検討            学修内容：研究課題と研究意義の検討            事前学修：これまでの文献検討内容を整理する。            事後学修：研究課題と研究意義を文章でまとめる。            備考：高林、関、野口、前川</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標に対し、事前学修内容（50%）、プレゼンテーションと討論（50%）により評価する。
テキスト	最新の論文や文献を使用するため、特定のテキストは使用しない。
参考図書・資料等	各自が検索・収集する。
受講、課題、資料配布等のルール	・授業は、事前学修した内容についてプレゼンテーションし、事前にまとめてきた疑問点や不明点・討議したい内容に沿って討議を進めるゼミ形式とする。

	※詳細は初回開講時に説明する。
教員からのメッセージ	討論を通じて自らの研究関心を確認するとともに、討論の概要を自分なりに整理して考えをまとめ、研究課題の明確化を図りましょう。
オフィスアワー	メールにてご連絡ください（メールアドレス：takabaya@niigata-cn.ac.jp）。